

学習の手引き

新居浜市立川東中学校

1 学習の心構え

中学校での学習は、小学校に比べて内容が難しくなり、勉強の量も多くなります。そのため、一人一人の個性に合った学習方法を考えることが大切です。次に挙げることを参考にし、毎日の学習に励みましょう。

(1) 自主的・計画的な学習をしましょう。

思いつきの勉強では十分な成果は上がりません。また、時間も有効に使えず、「わかった!」「できた!」という喜びを味わうこともできません。ムリ、ムラ、ムダのない計画を立て、自分自身が強い意志を持って進んで学習することが大切です。

(2) 自ら求める学習をしましょう。

自分を高めるためには、人に頼らず、できるだけ自分の力でやりとげましょう。保護者に宿題をしてもらったり、友達に写させてもらったりしても、何の役にも立ちません。基本的に、勉強は一人でするものです。

(3) 目標を持って学習しよう。

中学校卒業後の進路決定に備えて、自分の能力や適性を見つめ、それを伸ばそうとする長期計画を立て、学習に励みましょう。

2 学校での学習の仕方

学校での授業が一番大切です。先生の話をよく聞き、自分でよく考えましょう。どの教科も集中して授業に取り組み、その時間のめあてが達成できるように学習しましょう。

(1) 学習の五原則を守りましょう。

- 3分前に入室し、1分前には着席する。
- 授業前後のあいさつを大きな声でする。
- 姿勢は背筋を伸ばし、挙手は手を高くまっすぐに挙げる。
- 指名されたら大きな声で返事をし、全体に聞こえるように発言する。
- 先生、友人の言葉をよく聞き、自分の意見を持つ。勝手に席を立ったり、私語をしたりして、級友の学習のさまたげになることはやめましょう。

(2) 授業中は進んで発表しましょう。

授業中に発表することで自分の学習状況がわかり、友達の意見を聞くことにより、さらに考えが深まります。間違いを恐れず進んで発表し、互いに向上していきましょう。また、質問することは決して恥ずかしいことはありません。質問できる人は本当に勉強している人です。進んで質問できる人になりましょう。

① 発表は、先生に対して行うのではなく、学級全体の人に対して行うものです。教室の一番遠い人にもよく聞こえるようにしっかりした声で、語尾まではっきり言いましょう。

- | | | | | |
|-------|---|------------|---|---------------|
| 声のレベル | 1 | 自分だけに聞こえる声 | 2 | ペア学習で相手に聞こえる声 |
| | 3 | 班全体に聞こえる声 | 4 | 学級全体に聞こえる声 |

- ② 友達の意見もしっかり聞き、賛成や反対意見を述べたり、足りないところを補ったりするようにしましょう。意見を出し合い、練り合うことで、考えが深まります。
- ③ 結論だけでなく、そう考えた理由も述べるようにしましょう。単語だけで答えず、文末は「です」「ます」などで終わるように心がけましょう。
- ④ 発表を聞く時は、ただ漠然と聞くだけでなく、自分の考えと比べながら聞くようにしましょう。
- ⑤ 指名されたら「はい」と大きな声で返事をしてさっと立ち、自分の考えを述べましょう。
- ⑥ 教室は「間違えてもいい場所」です。友達の間違いを笑ったり、冷やかしたりしないようにしましょう。間違えることにより学習が確かめられるのです。

発表の基本

- ぼくは（私は）…だと思います。その理由は…だからです。
- …ではないかと思いますが、どうですか。
- …ではないかと思いますが、反対意見の人はいませんか。質問（意見）があります。
- 別の言い方をします。 ○ それについて、少し付け足しがあります。
- 「そうです」「同じです」「賛成」「反対」「いいと思います」
…さんは…と言いましたが、ぼくは（私は）…だと思います。
- …さんと同じように、ぼくも（私も）…だと思います。
- わからなかったので、もう一度言ってください。

(3) ノートのとり方を工夫しましょう。

- ① ノートは授業や家庭学習に欠かせないものです。速く正確に書けるように努めましょう。先生の指示をよく聞き、濃く丁寧な文字でわかりやすく整理する習慣を身に付けましょう。
- ② 板書されたものだけを書くのではなく、先生の話で大事だと思うことや自分の考えなどを書くようにしましょう。また、あまりつめて書かないで、後で補足できるように余白をとっておくとよいでしょう。
- ③ 「考えながら書く」「振り返りやすいように見やすく書く」ことがポイントです。

(4) 学習資料を有効活用しましょう。

学校の図書室や市立図書館は、学習の最良の援助者・協力者です。大いに利用して、教養を高めましょう。また、辞書や参考書からも多くのものが学び取れます。テレビ、新聞、インターネットなども上手に活用すれば「生きる力」が身につきます。「朝の読書」では、いろいろなジャンルの本を読むようにしましょう。国語の教科書の読書案内のページも参考になります。



3 家庭での学習の仕方

学校での授業を理解するためには、予習・復習が大切です。特に中学校では復習に力を入れましょう。家庭学習の時間を決め、宿題があるなしにかかわらず、必ず家庭で学習する習慣を身につけましょう。

中学生の1日の家庭学習の標準時間＝ 学年 ＋ 1時間

※ 1年生・・・2時間 2年生・・・3時間 3年生・・・4時間

- (1) 計画を立て、学校で決められた標準の学習時間は必ず確保しましょう。
- (2) 家庭学習は好きな教科にかたよらず、苦手な教科にも力を入れるようにしましょう。
- (3) その日学校で学習したことを復習し、翌日の予習をしましょう。
- (4) 復習ではノートや教科書を読み返し、自分にわかることとわからないことをはっきりさせ、わからないことは参考書、資料などで調べてみましょう。
- (5) 学習したことを忘れないようにするためには、教科書やノートを読み返すことが大切です。また、鉛筆を持って何度も書いたり、アンダーラインを引いたりして繰り返し練習し、確実に覚えましょう。
- (6) 予習では、教科書の次の学習内容に目を通して学習内容をあらかじめ知り、わからない語句を調べてノートに書いておくと、授業内容がよくわかります。
- (7) ワーク類など、答えを丸写ししても力はつきません。特にテスト前には自主的に学習計画を立て、練習問題などをして自分の力を確かめ、応用力をつけましょう。
- (8) 「いぶき」を毎日きちんと記入して、課題や準備物を忘れないようにしましょう。また、明日「どの教科で何をするか」「忘れ物はないか」を寝る前に点検する習慣をつけましょう。「いぶき」を活用して学習の計画、学習や生活の反省をしましょう。
- (9) 毎日の課題は、川東中学校生徒の当然の仕事として完全にやりとげましょう。自分に甘えないことです。
※ 毎日の漢字帳・英単語練習帳の提出状況は、月1回、家庭連絡カードでお知らせします。
- (10) よい学習環境をつくりましょう。勉強しやすい雰囲気づくりの工夫をし、勉強部屋にテレビ、携帯、スマホ、パソコン、ゲーム機などを置かないようにしましょう。プリント類の整理整頓をするなどして、能率的な学習に取り組みましょう。

